

連載

31

# 在宅医療奮闘記

平成7年より  
在宅を開始した

私の思い出

(医)東西会 千舟町クリニック院長

橋本 満義 (63歳・内科)

## 豪快な生き方「自由が一番ええんよ」



10年ほど前のことです。警察から一本の電話がありました。「路上で大の字に寝ていた84歳男性を保護しました。どうやら、タクシーでやって来て飲酒されたようですが、先生が主治医なので迎えに来てくれるようにと本人が言っています」

すぐに看護師と運転手を連れ現場へ向かうと、当人は尿失禁したまま気持ち良さそうに寝入っている状態でした。通りがかりの皆さんが遠巻きに見入っていましたが、事件性もないので警察にはお引き取りいただき、当院に連れ帰ることにしました。帰路の車中ではおしっこまみれの手で看護師を触ったり、当院に着き入浴させている最中もやんちゃなふるまいでした。

そもそも普段、在宅医療の訪問時にトイレに行くのにも

伝い歩きがやっとの彼なのです。ある日、オムツが半分脱げてお尻が出ていました。しっかり介護し、ちゃんとはかせてあげると、「もう少ししたら若いヘルパーさんが来るので、わざと脱いでいたんだ」と悪びれもせず言うのです。私は一瞬理解に苦しみました、「あまり皆さんを困らせないでね」と言うしかありませんでした。人間の生命力に驚嘆するとともに人生いろいろなんだなと思ったのです。

今回の患者さんの息子さんは公務員で立派な人物ですし、大きな屋敷にも住んでいます。しかし彼は、小さな木造アパートの独居生活が自由でよろしいようでした。「人生いろいろ、楽しみもいろいろ……」とはどこかの総理のお言葉でもありましたね。

### 「お医者さんが来てくれる」

質の高い在宅医療・看護・介護を『千舟町クリニック』は目指しています。



機能強化型・有床 在宅療養支援診療所

## (医)東西会 千舟町クリニック

松山市千舟町6-4-9 Tel:089-933-3788

<http://www.touzaikai.jp/>